

2025年9月2日
一般社団法人神奈川県剣道連盟

第72回 神奈川県剣道大会開催要項（案）

- 1 目的 支部を代表する小学生から大人まで選手が一堂に会して剣道の技を競い、日頃の修練の成果を現し、かつ礼儀作法や人間形成の道を学ぶことを目的とする。
- 2 日時 令和7年12月7日（日）
受付 9：00～9：25
開会式 9：30
- 3 会場 神奈川県立武道館
- 4 主催 神奈川県剣道連盟
後援 神奈川県スポーツ協会・神奈川新聞社・tvk（予定）

5 実施要項

- （1） チームの構成：チームは、監督1名、選手9名、合計10名とする。

	年齢（令和7年12月6日現在の年齢）
監督	年齢制限なし
大 将	50歳以上
副 将	40歳以上～50歳未満
三 将	30歳以上～40歳未満
四 将	18歳以上～30歳未満（高校生は不可）
中 堅	高校生（男子）・ 学年の制限なし
六 将	〃 （女子）・ 〃
七 将	中学生（男子）・ 〃
次 鋒	〃 （女子）・ 〃
先 鋒	小学生

- （2） 監督・選手の資格

- ・ 監督、選手は県剣道連盟に登録されている者。
- ・ 年齢起算は令和7年12月7日（大会当日）現在とする。
- ・ 神奈川県に在住または在勤の者とする。
- ・ 同一職場から1名とし、警察官、教員、その他の公務員は各チーム1名ずつとする。
- ・ 選手の段位は制限しない。
- ・ 先鋒並びに四将～大将は性別の制限はしない。

- （3） 試合方法

- ・ トーナメント戦で行う。
- ・ 試合は、3本勝負とし、時間内に勝敗の決しない場合は引分けとする。
- ・ 試合時間は小学生2分、中学・高校生3分、四将～大将は4分とする。
- ・ 勝者数、勝本数が同じ場合は代表者戦を行う。代表者戦は引き分けた選手の中から抽選で選出し、先に一本を取得したものを勝ちとする。試合時間及び延長に入ってから
試合時間は上記各年代区分と同じとし、その時間で区切って勝敗が決するまで継続する。

- （4） 出場選手は、各支部の表示を垂れに着けること。

- （5） 選手を変更する場合は、大会当日開会式前までとする。

- 6 表彰 優勝、準優勝、第3位（2チーム）
- 7 会場係員 会場係員、警備係員は横浜市内の全支部と藤沢市、茅ヶ崎市から一人ずつお願いします。
- 8 参加料 1支部 3,000円
- 9 申込方法 ・ゆうちょ銀行から振込む場合（通信欄に内訳を記載してください）
口座記号番号 00280-6-145455
口座名称 大会委員会神奈川県剣道連盟
（タイカイイインカイカナガワケンケンドウレンメイ）
・ゆうちょ銀行以外の金融機関から振込む場合
店名（店番）029（ゼロニキュウ）店（029）
預金番号 当座 0145455
- 入金を証明するものと申込書を事務局までメールにて申し込みしてください
申込なしの場合でも、なしと記載し、申込書を送付してください
- 10 申込締切日 11月7日（金）12時厳守
- 15 選手変更 選手変更は大会当日開会式まで
- 16 注意事項 出場選手は所属支部名の名札を垂につけてください
主催者は、医師を配置しますが応急手当以外の責任は負いません
主催者は、傷害保険に加入します（疾病等には適用されません、ご注意ください）
- 17 撮影等 大会における写真・動画の撮影及び音声の録音（以下「ビデオ撮影等」という。）並びに撮影した映像及び録音した音声（以下「撮影映像等」という。）の取扱いについては、次のとおりとします
・主催者は大会のビデオ撮影等並びに撮影映像等を大会ホームページ上に掲載することがあります

・大会の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止します。ただし、主催者から許諾を得て行う場合はこの限りではありません

・大会の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること

・大会の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと ただし、主催者から許諾を得て行う場合はこの限りではありません

以上

【剣道用具の取り扱いについて】

大会・予選会における、剣道用具の取り扱いについては、安全性・公平性の観点から以下のとおりとする。

(1)竹刀については次の事項を遵守すること。

(2)小手については次の事項を遵守すること。

- 小手は、こぶしと前腕(肘から手首の最長部)の 1/2 以上を保護し、安全性を保つため
 小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。
- 小手ぶとん部のえぐり(クリ)の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が 2.5 c m以内である。

(3)面については次の事項を遵守すること。

- 面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。

(4)剣道着については次の事項を遵守すること。

- 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。
(構えたときに肘関節が隠れること)

表1 竹刀の基準（一刀の場合）

対 象		中学生	高校生 (相当年齢の者も含む)	大学生・一般
長さ	男女共通	114センチメートル以下	117センチメートル以下	120センチメートル以下
重さ	男 性	440グラム以上	480グラム以上	510グラム以上
	女 性	400グラム以上	420グラム以上	440グラム以上
太さ	男性	先端部 最小直径	25ミリメートル以上	26ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	20ミリメートル以上	21ミリメートル以上
	女性	先端部 最小直径	24ミリメートル以上	25ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	19ミリメートル以上	20ミリメートル以上

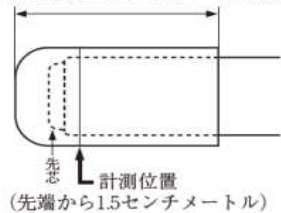
表2 竹刀の基準（二刀の場合）

対 象		大学生・一般	
		大 刀	小 刀
長さ	男女共通	114センチメートル以下	62センチメートル以下
重さ	男 性	440グラム以上	280～300グラム
	女 性	400グラム以上	250～280グラム
太さ	男性	先端部 最小直径	25ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	20ミリメートル以上
	女性	先端部 最小直径	24ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	19ミリメートル以上

図 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>

